

犬と人との豊かな暮らしを求めて

A2201325 湯田 彩美

研究の背景

最近では、犬を単なるペットとしてではなく「家族の一員」として共に暮らす人が増えてきています。また、犬が人に与える影響は大きいもので、生活に喜びをもたらし、コミュニケーションを豊かにさせるなど、計り知れないものがあります。

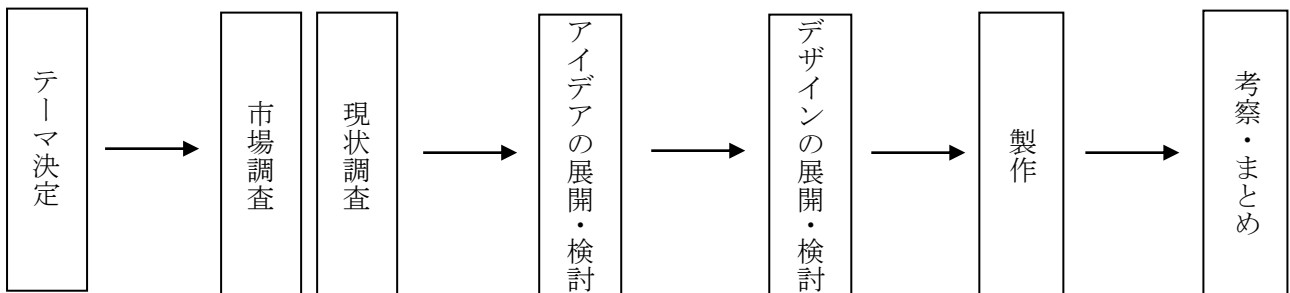
また、近年では犬の美容室やドッグラン、ドッグカフェなどの犬と共に利用できる施設なども充実し、今までより犬と飼い主とが豊かな暮らしをしているようにも思えます。しかし、犬と共に生活するには、様々な配慮をしなければなりません。その中でも、散歩時の糞尿の処理は身近な問題であり、マナーも含め改善すべき課題です。糞尿の処理が不十分であることで、他人に迷惑をかけ、ひどい場合になると対人問題にまで発展してしまうこともます。糞尿処理に関する決まりごとは、各地域で決まっています。ほとんどの地域ではホームページや看板などで糞の持ち帰りや尿の後処理を行うように呼びかけています。また、会津若松市でも糞尿処理についてホームページで呼びかけています。糞尿処理などのマナーを守らずにいることで、犬との暮らしに関する問題や制約が増え、犬と飼い主にとって肩身が狭く、暮らしにくい世の中になってしまいます。

この問題の解決のため、糞尿処理のマナーを身に付け、犬との楽しい生活を送ってもらおうということをテーマとし、新たな糞尿処理道具を提案したいと考えました。

研究の目的

犬は人間との暮らしの中で多くのものを与えてくれる存在であります。そんな犬との暮らしをより豊かに営めるよう、散歩時の糞尿処理の問題を解決したいと思いました。そのために、新しく犬の散歩時における糞尿処理道具を提案し、問題の解決に望みたいと思いました。

研究のプロセス



成果物(完成作品)

全体的な印象としては、シンプルでスタイリッシュなデザインにすることで誰にでも使いやすいものにしました。また、全体の大きさも配慮し、大人も子供も簡単に扱えるように柄の長さを短めにしました。糞回収の機能としては、糞が落ちる前に直接キャッチし、蓋がついているのでにおいも気にならないようにし、中に袋を装着することで糞の処分も簡単にできるようになっています。尿処理の機能としては、600ml程度の水が入るボトルがあり、犬の尿を処理することはもちろんのこと、犬の飲み水にも利用できるように簡易的なウォーターディッシュも付属させました。重量も1kgを超えないようになるべく抑え、持ち運びの容易な重さになるように配慮しました。

考察

今回提案した糞尿処理道具を使うことにより、犬を飼っている多くの人が糞尿処理のマナーを学び、愛犬とのびのびとした暮らしを営めるようになるのではないだろうかと思います。しかし、改善が必要な点は非常に多く、尿のにおいを完全に抑えるための仕組みや、より使いやすいデザインなどを完成させる必要があります。そして今後、犬を飼うすべての人がより簡単に糞尿処理をおこなえるようなモノができれば、犬と人との豊かな暮らしの純度は高まるのではないかと思います。

今回の研究をしたことで、犬と人を取り巻く生活環境について様々な視点で考えることができ、まだまだ解決をせねばならない問題が多くあるということを知ることができました。特に、犬を飼っていない人、犬が苦手な人の視点に立ったときには、犬の鳴き声やにおいなど、犬を飼っている私自身には考えもしないことが問題になることがあるということを知り、とても感慨深かったです。